

**サイボウズ ガルーン  
バージョン 3.7  
インストールマニュアル**

**第 5.3 版**

**サイボウズ株式会社**

# はじめに

本書は、1 台のサーバーマシンに「サイボウズ ガルーン バージョン 3.7.0」をインストールする手順と、インストール後の初期設定について説明します。ガルーンをバージョン 3.7.0 にバージョンアップする手順についても説明します。

アプリケーションサーバーとデータベースサーバーを分離した環境でインストールまたは、バージョンアップする場合は、『サーバー分離構成インストールマニュアル』を参照してください。

## 対象読者

本書の対象読者は次のとおりです。

- サイボウズ ガルーンのインストール担当者

## 本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
重要	特に重要な注意事項
注意	操作に注意が必要な事項や制限事項
補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っているると便利な情報
[ ]	画面上のボタン、リンクまたはタブ
- ###ページ	参照先のページ

## 本書の作成環境

本書の作成環境は、次のとおりです。

- OS: Windows Server 2008 Standard x64(SP2)
- Web ブラウザー: Internet Explorer 8
- 製品バージョン: サイボウズ ガルーン バージョン 3.7.0

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

## 本書で使用している製品名称と略称

本書では、次の略称を使用しています。

略称	製品名
ガルーン	サイボウズ ガルーン バージョン 3.7.0
Zaseki 7 for ガルーン 2	Zaseki 7 for サイボウズ ガルーン バージョン 2.x.x
全文検索サーバー	サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバー

## 本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報をご利用になることにより発生したあらゆる商業的損害・損失を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『ガルーンインストールマニュアル』を一部引用しています。」

## 商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。  
個別の商標・著作物に関する注記については、弊社の Web サイトを参照してください。  
[http://cybozu.co.jp/company/copyright/other\\_companies\\_trademark.html](http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html)  
なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。
- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)  
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.  
(<http://www.openssl.org/>)  
This product includes cryptographic software written by Eric Young  
(eay@cryptsoft.com)  
This product includes software written by Tim Hudson  
(tjh@cryptsoft.com)

---

# 目次

---

はじめに .....	2
目次 .....	4
<b>1章 作業前に確認すること</b> .....	6
1.1 動作環境 .....	6
1.1.1 サーバー環境構築例 .....	7
1.2 ネットワークの設定 .....	8
<b>2章 インストールする</b> .....	9
2.1 インストールの準備をする .....	9
2.2 Windows 環境にインストールする .....	11
2.2.1 インストールの準備をする .....	11
2.2.2 インストールする .....	11
2.2.3 初期化する .....	17
2.3 Linux 環境にインストールする .....	20
2.3.1 インストールの準備をする .....	20
2.3.2 インストールする .....	20
2.3.3 初期化する .....	24
2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する .....	26
2.4.1 お客様情報を登録する .....	26
2.4.2 システム管理者を指定する .....	26
2.4.3 サイボуз データベースエンジンの設定を変更する .....	27
<b>3章 バージョンアップする</b> .....	30
3.1 Windows 環境でバージョンアップする .....	31
3.1.1 バージョンアップの準備をする .....	32
3.1.2 バージョンアップする .....	32
3.1.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする .....	35
3.2 Linux 環境でバージョンアップする .....	36
3.2.1 バージョンアップの準備をする .....	36
3.2.2 バージョンアップする .....	37
3.2.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする .....	39
3.3 バージョンアップ後に必要な作業 .....	40

---

3.3.1 バージョン 3.5.0 より前からバージョンアップした場合 .....	40
3.3.2 バージョン 3.5.x からバージョンアップした場合 .....	40
3.4 バージョンアップに失敗したガルーンの復旧方法 .....	43
<b>4章 アンインストールする .....</b>	<b>44</b>
4.1 Windows 環境でアンインストールする .....	44
4.2 Linux 環境でアンインストールする .....	46
<b>付録A サービスの停止方法と起動方法 .....</b>	<b>47</b>
付録A.1 サービスを停止する .....	47
付録A.2 サービスを起動する .....	47
<b>付録B IPv6 環境で必要な設定 .....</b>	<b>49</b>
<b>付録C ファイル構成 .....</b>	<b>51</b>
付録C.1 Windows 環境のファイル構成 .....	51
付録C.2 Linux 環境のファイル構成 .....	54
<b>索引 .....</b>	<b>57</b>

# 1 章 作業前に確認すること

ガルーンの動作環境やネットワークの設定について説明します。インストールやバージョンアップの作業をする前に必ずこの章をお読みください。

## 1.1 動作環境

ガルーンの動作環境は次のとおりです。(2013 年 7 月現在)

### 注意

- 製造元のサポートが終了している製品、サービスは動作環境に含まれません。

### 対応 OS

OS	バージョン
Windows	Windows Server 2008 Standard(SP2) Windows Server 2008 Enterprise(SP2)
Windows (64bit)	Windows Server 2012 Standard Edition Windows Server 2008 R2 Standard(SP1) Windows Server 2008 R2 Enterprise(SP1) Windows Server 2008 Standard(SP2) Windows Server 2008 Enterprise(SP2)
Linux	Red Hat Enterprise Linux Server 6 Red Hat Enterprise Linux Server 5 Advanced Platform Red Hat Enterprise Linux Server 5
Linux (64bit)	Red Hat Enterprise Linux Server 6 Red Hat Enterprise Linux Server 5 Advanced Platform Red Hat Enterprise Linux Server 5

### 対応 Web サーバー

OS	Web サーバー
Windows	Apache 2.2.x インターネット インフォメーション サービス (IIS) 7.0、7.5、8.0
Linux	Apache 2.2.x

### 対応 Web ブラウザー

OS	Web ブラウザー
Windows	Internet Explorer 6、7、8、9、10(デスクトップ版) Mozilla Firefox 最新版 Google Chrome 最新版
Mac OS	Safari 最新版 Mozilla Firefox 最新版
iOS 5、6	Safari 最新版
Android 2、3、4	Android 標準 Web ブラウザー

### 補足

- ガルーンは、仮想化環境でも動作します。仮想化環境で使用する場合、お客様の環境によっては、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- 最新の動作環境や制限事項については、弊社 Web サイトを参照してください。  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/environment/>

### メールサーバー

メールクライアント機能を利用する場合、メールサーバーが別途必要です。対応しているメールサーバーは、次のとおりです。

#### プロトコル

- SMTP
- SMTPS
- POP3
- POP3S
- IMAP4  
IMAP4 はメール受信機能のみに対応しています。その他の機能は使用できません。

#### 認証形式

- APOP
- POP before SMTP
- SMTP Authentication (SMTP 認証)

#### 暗号化プロトコル

- SSL
- TLS  
TLS は送信メールサーバーのみに対応しています。

## 1.1.1 サーバー環境構築例

利用ユーザー数によって、ガルーンをインストールするサーバーの構成が異なります。サーバーの構築例については、弊社 Web サイトを参照してください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/construction/>

## 1.2 ネットワークの設定

---

ガルーンと Web ブラウザーとの通信には HTTP または HTTPS を使用します。ファイアウォールを経由してガルーンに接続する場合は、通信に使用するプロトコルに合わせたポートを開ける必要があります。

### プロトコルとポート番号の使用例

プロトコル	一般的なポート番号
HTTP	80
HTTPS	443

### ガルーンとデータベースエンジンの通信

- データベースエンジンとの通信に使用するポートは、サーバー外部からアクセスする必要がないため、必ず閉じてください。また、ポート番号は、外部に公開しないでください。
- ガルーンがデータベースエンジンとの通信に使用するポート番号は、通常は 3770 です。
- インストールした環境によって、異なるポート番号が設定される場合があります。
- データベースエンジンのポート番号は、「データベースサーバー設定ファイル」(my.ini ファイル)で確認できます。
- 既定のディレクトリーにガルーンをインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。  
Windows 環境: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini  
Linux 環境: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

### ポート番号の設定

```
[mysqld]
port = 3770
```

次の機能を使用する場合、ガルーンをインターネットに接続できる環境が必要です。また、ネット連携サービスとサイボウズからのお知らせは、日本語のみの提供です。

- ネット連携サービス(天気予報、六曜)
- サイボウズからのお知らせ
- RSS リーダー(インターネット上のサイトを登録する場合)

### 補足

- 通信 に IPv6 を使用している環境でガルーンを運用する場合は、次のページを参照してください。  
「付録 B IPv6 環境で必要な設定」 - 49 ページ



## 2章 インストールする

ガルーンをインストールする手順を説明します。

### 補足

- ガルーンで利用している LDAP に SSL で接続する場合には、設定が必要です。手順については、弊社の Web サイトを参照してください。  
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

### 2.1 インストールの準備をする

ガルーンをインストールするために準備するプログラムと情報は、次のとおりです。

項目	説明
インストーラー	最新版のインストーラーは、弊社 Web サイトからダウンロードできます。 <a href="http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/">http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/</a>
Administrator または superuser のパスワード	ガルーンを管理するユーザーのパスワードです。ガルーンを初期化するために必要です。
システム管理者の情報	ガルーンを管理するシステム管理者の情報です。 ・ユーザー名 ・ログイン名 ・パスワード
お客様情報	ガルーンを導入するお客様の情報です。 ・法人名 ・法人名(読みがな) 画面に表示するロゴを変更する場合は、次のどちらかを準備します。 ・画像ファイル ・画像ファイルの保存先を示す URL
ドキュメントルートディレクトリー	ガルーンの HTML ファイルや画像ファイルなどを保存するディレクトリーです。
CGI 実行可能ディレクトリー	ガルーンの CGI プログラムや、設定ファイルなどを保存するディレクトリーです。
インストール識別子	ガルーンを識別するための文字列です。使用できる文字は、次のとおりです。 ・「a」から「z」までの、小文字のアルファベット ・「A」から「Z」までの、大文字のアルファベット ・「_」(アンダーバー) ・「0」から「9」までの数字  補足: ・先頭の文字に、数字は使用できません。 ・使用できる文字数は、最大 10 文字です。 ・すでにほかのサイボウズ製品をインストールしている場合は、既存のインストール識別子と異なる識別子を指定してください。
データベース管理ユーザーのパスワード	サイボウズ データベースエンジンを管理するユーザー (cbroot) のパスワードです。パスワードは厳重に管理してください。
データベース接続ユーザーのパスワード	サイボウズ データベースエンジンに接続するユーザーのパスワードです。パスワードは厳重に管理してください。

### 標準データとサンプルデータとは

標準データやサンプルデータにはガルーンの機能を理解するために、便利な情報やデータがまとめられています。初期化時に表示言語を日本語にした場合のみ、標準データとサンプルデータを利用できます。

#### 標準データ

標準データには、祝日や予定メニューなどのデータが登録されています。ガルーンにユーザーを新規で登録して使用する場合は、標準データのインストールを推奨します。

#### サンプルデータ

サンプルデータには、ユーザー、組織、予定などのデータが登録されています。サンプルデータに含まれるユーザーを使用して、ガルーンの機能を試すことができます。

#### 補足

- ガルーンを初期化すると、標準データやサンプルデータが削除されます。
  - Windows 環境  
「2.2.3 初期化する」 - 17 ページ
  - Linux 環境  
「2.3.3 初期化する」 - 24 ページ

## 2.2 Windows 環境にインストールする

ガルーンを Windows Server 2008 の環境にインストールする手順を説明します。  
次の環境が使用されている場合を例に説明します。

- Web サーバー: IIS 7.0
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: C:\inetpub\scripts
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: C:\inetpub\wwwroot

### 2.2.1 インストールの準備をする

次の内容を確認したあと、インストールを開始します。

#### Web サーバーをインストールしていますか？

サーバーに Web サーバーをインストールして、CGI を実行できるように設定します。

「対応 Web サーバー」- 6 ページ

「Windows 環境で IIS を利用する」- 17 ページ

#### 補足

- Web サーバーをインストールする手順については、弊社の Web サイトを参照してください。  
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webinstall/>
- scripts については、弊社の Web サイトを参照してください。  
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>

#### インストールに必要な情報を準備していますか？

Administrator のパスワードやインストール識別子などを準備します。

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

### 2.2.2 インストールする

Windows 環境に、ガルーンをインストールする手順を説明します。

#### 重要

- 古いバージョンのガルーンがインストールされているサーバーマシンに、新しいバージョンのガルーンをインストールしないでください。1 台のサーバーマシンに異なるバージョンのガルーンをインストールすると、古いバージョンのガルーンを使用できなくなります。

#### 注意

- インストール作業を開始する前に、すべての Windows プログラムを終了する必要があります。
- Web サーバーをインストールしている場合は、Web サーバーが起動していることを確認します。
- データベース管理ユーザーおよびデータベース接続ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、パスワードを再設定したりガルーンを別のサーバーに移行したりできません。
- 1 台のサーバーに複数のガルーンをインストールした状態での運用は避けてください。

## 2章 インストールする

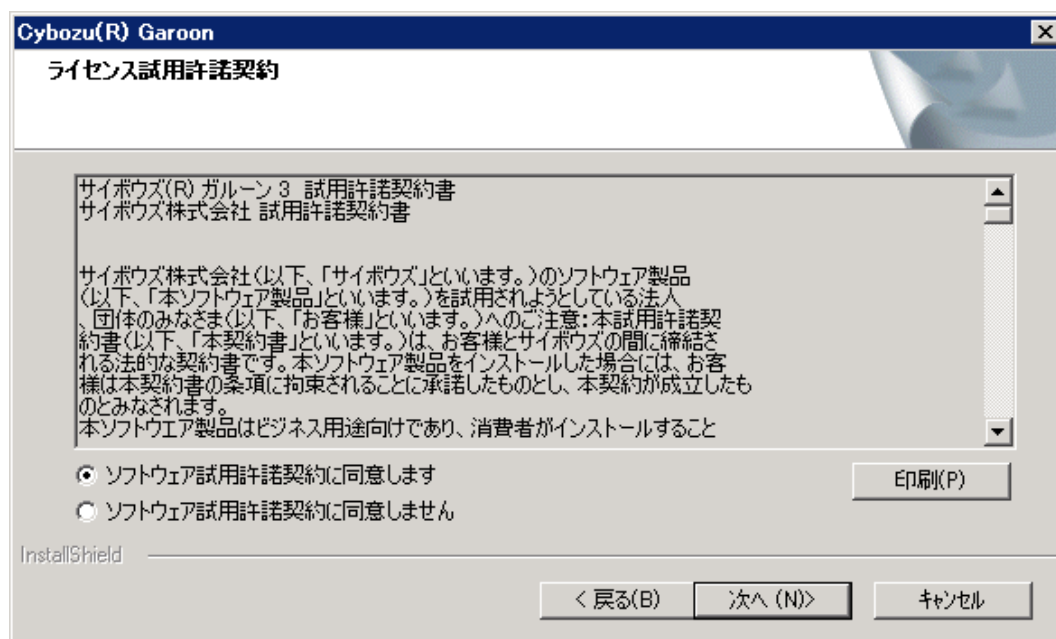
- Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージがインストールされます。削除しないでください。

- 1 サーバマシンに、インストール先のサーバの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
- 2 インストーラーを C:\Temp などの任意の場所に配置します。
- 3 インストーラーを起動し、[次へ]をクリックします。  
インストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



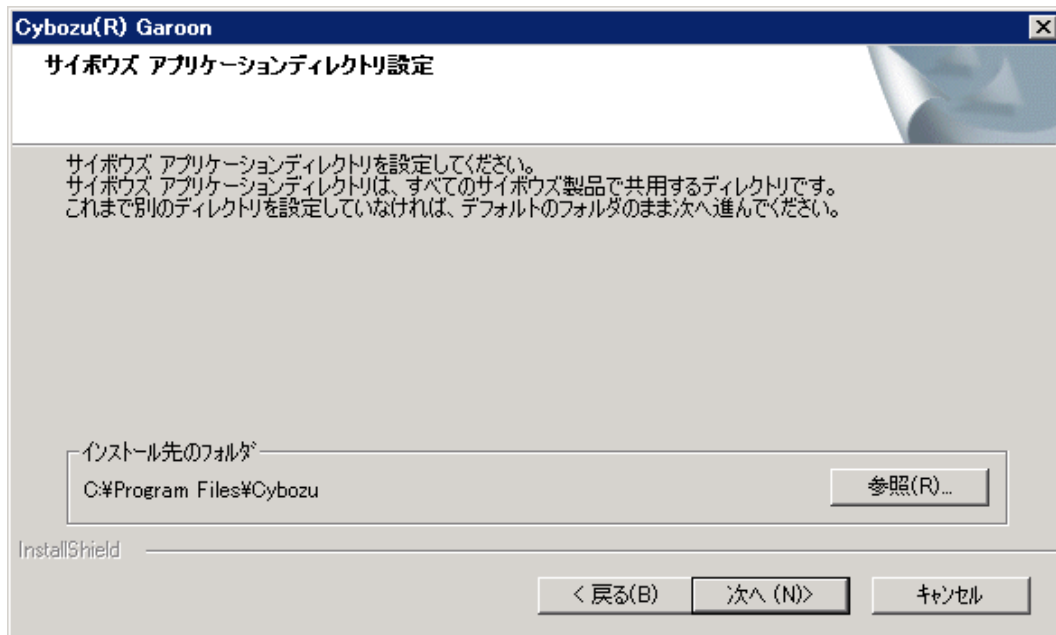
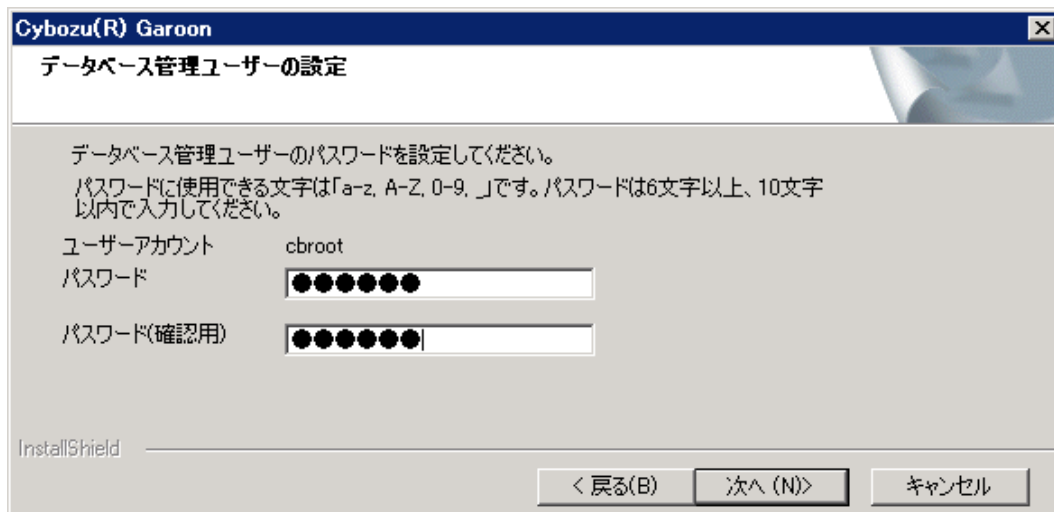
- 4 試用許諾契約を確認し、同意する場合は「ソフトウェア試用許諾契約に同意します」を選択し、[次へ]をクリックします。

試用許諾契約に同意しない場合は、[キャンセル]をクリックします。インストーラーが終了します。



**5 サイボуз アプリケーションディレクトリー設定を確認し、[次へ]をクリックします。**

サイボуз アプリケーションディレクトリーを変更する場合は、[参照]をクリックして、インストールディレクトリーを指定します。

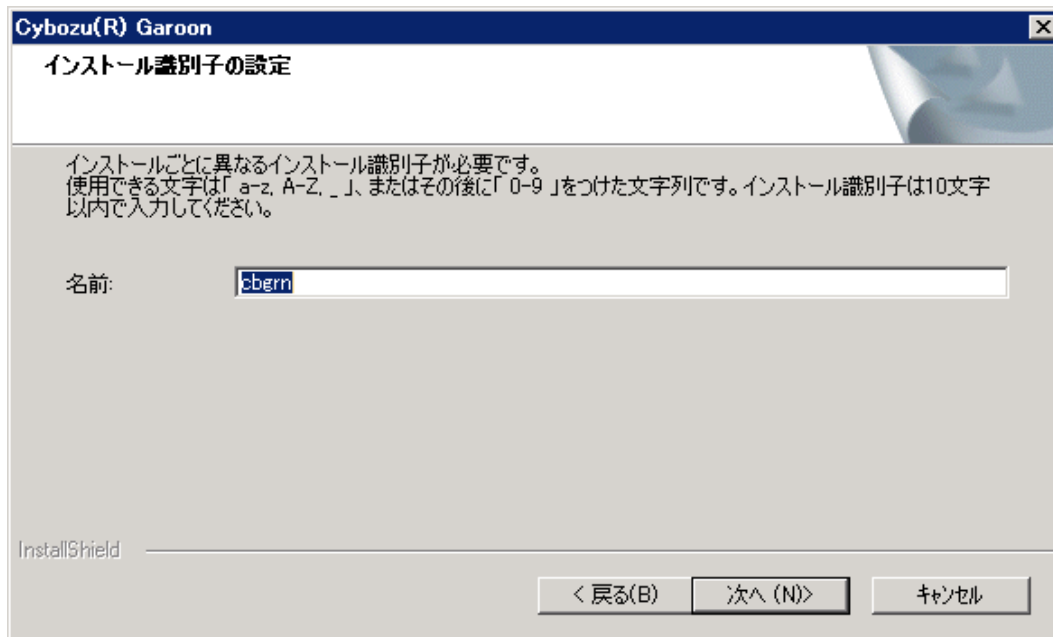
**6 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。****7 インストール識別子を確認し、[次へ]をクリックします。**

すでにサイボуз製品をインストールしている場合は、重複しない識別子を使用します。ここで入力したインストール識別子が、ガルーンにアクセスする URL に使用されます。

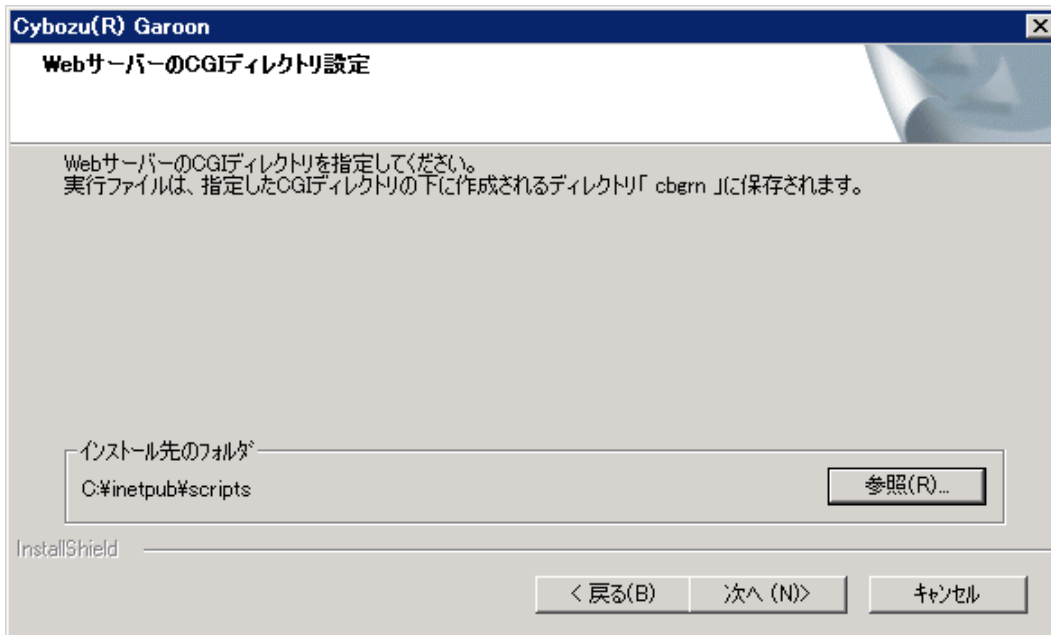
IIS が起動していない、または IIS がインストールされていない場合は、「Web サーバーをインストールしますか?」と表示されます。[はい]をクリックすると、Apache がインストールされます。

「Web サーバーをインストールしていますか?」 - 11 ページ

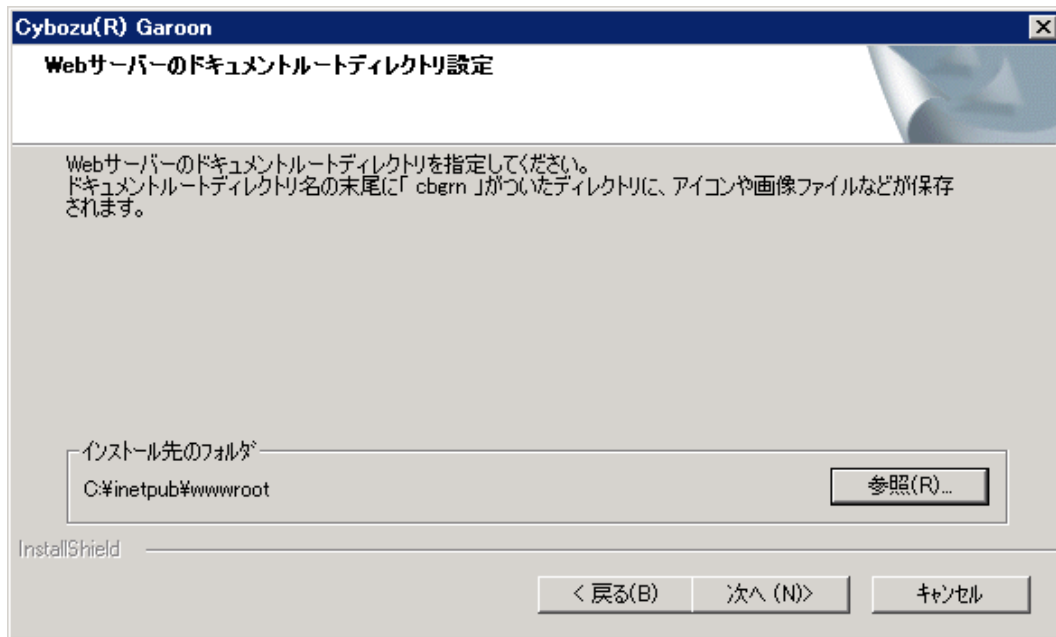
「Web サーバーをインストールする」 - 16 ページ



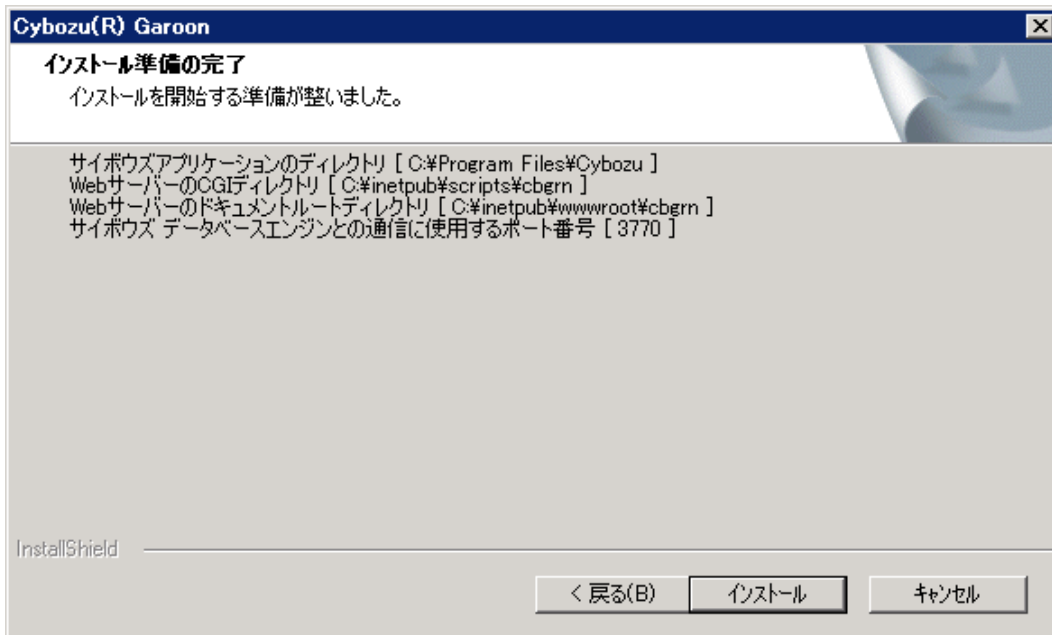
- 8 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリーを確認し、[次へ]をクリックします。  
CGI 実行可能ディレクトリーを変更する場合は、[参照]をクリックしてディレクトリーを指定します。



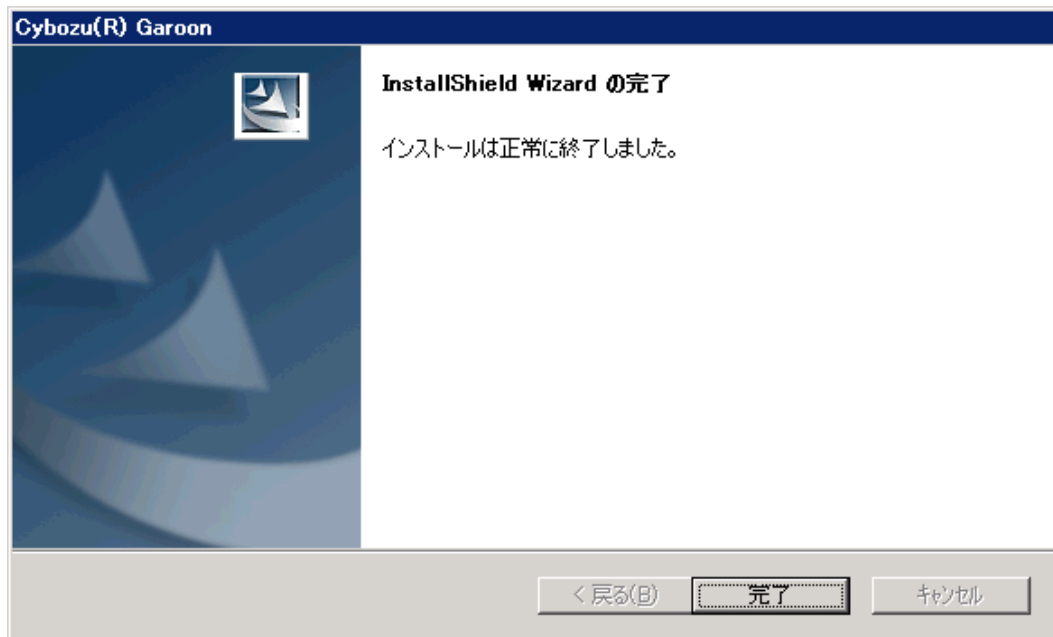
- 9 Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーを確認し、[次へ]をクリックします。  
ドキュメントルートディレクトリーを変更する場合は、[参照]をクリックしてディレクトリーを指定します。



- 10 表示されている内容を確認し、[インストール]をクリックします。  
インストールが始まります。



- 11 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



### 12 ガルーンを初期化します。

「2.2.3 初期化する」 - 17 ページ

#### 補足

- ガルーンの URL にアクセスしても正常に画面が表示されない場合は、次の内容を確認します。
  - IIS の IUSR がドキュメントルートディレクトリーにアクセスできることを確認します。
  - Web サーバーに仮想ディレクトリーが正しく設定されていることを確認します。  
仮想ディレクトリーの作成方法は、弊社 Web サイトを参照してください。  
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>
- ガルーンとデータベースエンジンのインストールログは、まとめて出力されます。初期設定でガルーンをインストールした場合のインストールログの保存先は、次のとおりです。
  - 64bit OS: C:\WINDOWS\SystemWow64\_cb\_installer.log
  - 32bit OS: C:\WINDOWS\System32\_cb\_installer.log

### Web サーバーをインストールする

Web サーバーがインストールされていない、または停止している場合は、「2.3.2 インストールする」の手順 6 のあとに、「Web サーバーをインストールしますか？」と表示されます。

- [はい]をクリックすると、Web サーバー (Apache HTTP Server 2.2) がインストールされます。
- [いいえ]をクリックすると、Web サーバーとガルーンのインストールが中止されます。

#### 補足

- ガルーンのインストーラーを使用して Web サーバーをインストールした場合、初期設定では次のディレクトリーに Web サーバーがインストールされます。
  - CGI 実行可能ディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\Apache2.2\cgi-bin
  - ドキュメントルートディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\Apache2.2\htdocs
- Windows Server 2008 の 64bit 環境で Apache を利用する場合、Apache のファイルは初期値では、次のディレクトリーに保存されます。  
C:\Program Files (x86)\Cybozu



## Windows 環境で IIS を利用する

Windows 環境で IIS7 または IIS8 を利用する場合は、ガルーンのインストール後に次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーンをインストールした場合を例として説明しています。

- 1 **Windows のスタートメニューから、「管理ツール」 > 「サーバー マネージャ」の順に選択します。**  
Windows Server 2012 は、Windows のスタートメニューから「サーバー マネージャー」を起動します。
- 2 **IIS マネージャ(IIS マネージャー)を起動します。**
  - IIS7:  
[役割] > [Web サーバー(IIS)] > [インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャ]の順に選択します。
  - IIS8:  
[ツール] > [インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャー]の順に選択します。
- 3 **「接続」欄で、[(コンピューター名)] > [サイト] > [Default Web Site] > [scripts]を選択します。**
- 4 **機能ビューで、scripts ホームの[ハンドラ マッピング]をダブルクリックして、[CGI-exe]を選択し、[編集]をクリックします。**
- 5 **「モジュール マップの編集」画面で、「実行可能ファイル(E):」に、grn.exe までのパスを入力し、[OK]をクリックします。**  
例: C:\inetpub\scripts\cbgrn\grn.exe
- 6 **「この ISAPI 拡張機能を有効にしますか？」と表示されたら、[はい(Y)]をクリックします。**

### 補足

- 同じ仮想ディレクトリーに、scripts を使用するほかの exe ファイルがある場合は、各 exe ファイルに、スクリプト マップを設定する必要があります。  
例: 初期値でデヂエを使用している場合は、次のスクリプト マップを追加します。

要求パス: db.exe 実行可能ファイル: C:\inetpub\scripts\cbdb\db.exe 名前: db.exe
--

- ISAPI 拡張機能を有効に設定すると、ガルーンのプログラムが IIS のプロセス上で実行されるようになります。

## 2.2.3 初期化する

ガルーンの Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーンを初期化します。

コマンド プロンプトで initialize.bat を実行して初期化します。

### 注意

- ガルーンの初期化中に初期化をキャンセルすると、ガルーンが使用できなくなる場合があります。ガルーンの初期化を途中でキャンセルした場合は、初期化する前のガルーンに戻して最初から操作をやり直してください。
- 標準データやサンプルデータを削除するには、ガルーンを初期化する必要があります。初期化した場合、ほかのデータも削除されます。

- 1 **initialize ディレクトリーに移動します。**  
ガルーンのインストール完了後に続けて初期化する場合、この操作は不要です。手順 3 に進みます。

## 2章 インストールする

次のコマンドを実行します。

```
cd (CGI 実行可能ディレクトリー)¥(インストール識別子)¥initialize
```

例: cd C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn¥initialize

### 2 次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
initialize.bat ja "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0" cybozu
```

- initialize.bat の説明

コマンド:

```
initialize.bat [言語] [MySQL ディレクトリーパス] [データベース管理ユーザーのパスワード]
```

引数:

言語	次のいずれかを入力します。 ja: 日本語です。タイムゾーンは「Asia/Tokyo」になります。 en: 英語です。タイムゾーンは「Europe/London」になります。 zh: 中国語です。タイムゾーンは「Asia/Shanghai」になります。
MySQL ディレクトリーパス	初期設定でガルーンをインストールした場合のディレクトリーパスは次のとおりです。 C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0

### 3 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

### 4 データベース接続ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

ガルーンを初期化します。

データベース接続ユーザーのパスワードを設定してください。

パスワードに使用できる文字は「a-z, A-Z, 0-9, \_」です。

パスワードは 6 文字以上、10 文字以内で入力してください。

### 5 Administrator のパスワードを入力し、Enter キーを押します。

「Administrator」のパスワードを設定してください。

補足:

- パスワードは半角で入力してください。
- <, >, |, & は、パスワードに使用できません。環境によって、ほかの記号も使えない場合があります。
- インストール時には、記号を含まないパスワードを設定します。パスワードに記号を使用する場合は、ガルーンを初期化後、システム管理でパスワードを変更します。  
パスワードを変更する手順は、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン 管理者マニュアル』「ユーザー情報を変更する」

### 6 インストールするデータを選択し、Enter キーを押します。

ガルーンにインストールするデータを選択してください。何もインストールしない場合は「なし」を選択してください。

1: 標準データとサンプルデータ

日本の祝日や申請フォームなどの標準データと、ユーザーやポータルなどのサンプルデータをインストールします。ガルーンをすぐに試用できます。

2: 標準データ

日本の祝日や申請フォームなどの標準的なデータをインストールします。サンプルデータはインストールされません。

3: なし

[1|2|3]:

- 7 表示されている内容を確認し、「yes」を入力して Enter キーを押します。  
初期化が始まります。

```
Summary of initialize configuration
```

```
データベース管理ユーザーのパスワード : "cybozu"
データベース接続ユーザーのパスワード : "cybozu"
「Administrator」のパスワード: "cybozu"
データのインストール: [手順 6 で選択した結果]
```

```
上記の設定でガルーンを初期化します。よろしいですか？
[yes or no]
```

「no」を入力し、Enter キーを押すと、初期化が中止されます。

```
初期化を中止しました。
初期化をやり直す場合は、次のコマンドを実行してください。
```

```
CD "C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn¥initialize¥"
initialize.bat ja "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0" [CBROOT_PASSWORD]
```

- 8 初期化が正常に終了したことを確認します。

```
インストールが正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。
```

```
http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリの仮想パス)/cbgrn/grn.exe
```

```
例)http://webserver.cybozu.co.jp/scripts/cbgrn/grn.exe
```

```
例)http://10.10.203.55/scripts/cbgrn/grn.exe
```

- 9 ガルーンの初期設定をします。

「2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する」-26 ページ

## grn\_initialize.log を確認する

初期化が正常に終了したかどうかを grn\_initialize.log で確認できます。

既定のディレクトリーにガルーンをインストールした場合、grn\_initialize.log は次のディレクトリーに保存されています。

```
C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn
```

### grn\_initialize.log の例

```
2013-02-28 17:28:21 Writing to log file: C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn/grn_initialize.log
2013-02-28 17:28:21 Garoon: Version 3.7.0
2013-02-28 17:28:21 Operating System: Windows NT WIN2K809 6.0 build 6002 (Windows Server 2008 Standard
Edition Service Pack 2) i586
2013-02-28 17:28:21 Command Line Parameters: db_admin_password='cybozu' db_user_password='cybozu'
garoon_admin_password default_timezone='Asia/Tokyo' default_locale='ja' force_initialize='yes' init_data='2'
2013-02-28 17:28:21 Starting
2013-02-28 17:30:31 Done in 2 minutes 10 seconds. _____ a)
```

a): 初期化が終了すると、処理にかかった時間が表示されます。

## 2.3 Linux 環境にインストールする

---

ガルーンを Linux 環境にインストールする手順を説明します。

次の環境が使用されている場合を例に説明します。

- Web サーバー: Apache
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: /var/www/html

### 2.3.1 インストールの準備をする

次の内容を確認したあと、インストールを開始します。

#### Web サーバーをインストールしていますか？

サーバーに Web サーバーをインストールして、CGI が実行できるように設定します。

「対応 Web サーバー」 - 6 ページ

Web サーバーのインストール方法: <http://manual.cybozu.co.jp/tech/webinstall/>

#### 補足

- Apache のプロセスは prefork 方式で動作するよう設定する必要があります。

#### インストールに必要な情報を準備していますか？

Administrator のパスワードやインストール識別子などを準備します。

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

#### SELinux は無効になっていますか？

SELinux が有効になっていると、ガルーンは正常に動作しません。

#### ガルーンの運用に必要なライブラリーがインストールされていますか？

使用している環境に、ガルーンを運用するために必要なライブラリーがインストールされていることを確認します。

ガルーンが使用するライブラリーについて、詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

[http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux\\_library.html](http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux_library.html)

### 2.3.2 インストールする

Linux 環境に、ガルーンをインストールする手順を説明します。

#### 重要

- 古いバージョンのガルーンがインストールされているサーバーマシンに、新しいバージョンのガルーンをインストールしないでください。1 台のサーバーマシンに異なるバージョンのガルーンをインストールすると、古いバージョンのガルーンを使用できなくなります。

**注意**

- Web サーバーをインストールしている場合は、Web サーバーが起動していることを確認します。
- データベース管理ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、パスワードを再設定したり、ガルーンを別のサーバーに移行したりできなくなります。
- 1 台のサーバーに複数のガルーンをインストールした状態での運用は避けてください。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。

2 インストーラーが存在するディレクトリーに移動します。

3 インストーラーを実行します。

- 64bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.7.0-linux-x64.bin
```

- 32bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.7.0-linux.bin
```

4 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

```
ガルーンのインストールを開始します。このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。
Installing starts. If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.
```

5 試用許諾契約を確認し、同意する場合は「yes」を入力して、Enter キーを押します。

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

試用許諾契約に同意しない場合は、「no」を入力し、Enter キーを押します。インストーラーが終了します。

6 インストール識別子を入力し、Enter キーを押します。

すでにサイボウズ製品をインストールしている場合は、重複しない識別子を使用します。

ここで入力したインストール識別子がガルーンにアクセスする URL に使用されます。

```
インストール、アンインストール、またはバージョンアップする製品のインストール識別子を入力してください。
```

```
新規にインストールする場合は、他の製品と異なるインストール識別子を入力する必要があります。
```

```
使用できる文字は「 a-z, A-Z, _ 」, またはその後に「 0-9 」をつけた文字列です。インストール識別子は 10 文字以内で入力してください。
```

```
バージョンアップまたはアンインストールする場合は、すでにインストールしている製品のインストール識別子を入力します。
```

```
[cbgrn]:
```

7 ガルーンのプログラムとデータのインストールディレクトリーを確認し、Enter キーを押します。

インストールディレクトリーを変更する場合、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

```
プログラムファイルのディレクトリーを指定してください。
```

```
データサイズが大きくなるため、ディスク空き容量に注意してください。
```

```
[/usr/local/cybozu]
```

8 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

## 2章 インストールする

---

データベース管理ユーザー (cbroot) のパスワードを入力してください。  
使用できる文字は「a-z, A-Z, 0-9, \_」です。  
パスワードは 6 文字以上、10 文字以内で入力してください。

Enter Password: cybozu

### 9 データベース接続ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

データベース接続ユーザーのパスワードを入力してください。

Enter Password:cybozu

### 10 Administrator のパスワードを入力し、Enter キーを押します。

「Administrator」のパスワードを入力してください。

Enter Password: cybozu

### 11 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリーを確認し、Enter キーを押します。

CGI 実行可能ディレクトリーを変更する場合は、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

CGI ディレクトリーを設定します。  
インストール先は「(CGI ディレクトリー)/cbgrn」です。  
例:/var/www/cgi-bin/cbgrn  
[/var/www/cgi-bin]

### 12 Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーを確認し、Enter キーを押します。

ドキュメントルートディレクトリーを変更する場合は、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

ドキュメントルートを指定してください。  
インストール先は「(ドキュメントルート)/cbgrn」です。  
例:/var/www/html/cbgrn  
[/var/www/html]

### 13 Web サーバーの実行ユーザー名を確認し、Enter キーを押します。

Web サーバーの実行ユーザー名が異なる場合、正しい実行ユーザー名を入力し、Enter キーを押します。

Web サーバーの実行ユーザー名を設定します。  
[apache]:

### 14 インストールするデータを選択し、Enter キーを押します。

ガルーンにインストールするデータを選択してください。何もインストールしない場合は「なし」を選択してください。

#### 1: 標準とサンプルデータ

日本の祝日や申請フォームなどの標準データと、ユーザーやポータルなどのサンプルデータをインストールします。ガルーンをすぐに試用できます。

#### 2: 標準

日本の祝日や申請フォームなどの標準的なデータをインストールします。サンプルデータはインストールされません。

#### 3: なし

[1|2|3]:

## 15 表示された内容を確認し、正しければ「yes」を入力して Enter キーを押します。

インストールが始まります。

「no」を入力し、Enter キーを押すと、インストールが終了します。

```
Summary of install configuration

プログラムファイルのインストール先:/usr/local/cybozu
データベース管理ユーザー:cbroot
データベース管理ユーザーのパスワード:cybozu
「Administrator」のパスワード:cybozu
データベース接続ユーザーのパスワード:cybozu
データのインストール:[手順 14 で選択した結果]
インストール識別子:cbgrn
Web サーバーの実行ユーザー:apache
CGI プログラムのインストール先:/var/www/cgi-bin/cbgrn
画像ファイルのインストール先:/var/www/html/cbgrn
サイボウズ データベースエンジンとの通信に使用するポート番号:3770
スケジューリングサービス起動スクリプト:/etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
製品の削除スクリプト:/var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn
サイボウズ データベースエンジン起動スクリプト:/etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
サイボウズ データベースエンジン削除スクリプト:/usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0

上記の設定でインストールします。よろしいですか？
[yes or no]: yes
```

## 16 インストールが正常に終了したことを確認します。

```
Installing Cybozu Database Engine...
Installing CGI...
installing DB Script...
Installing Cybozu Scheduling Service...
Installing Web files...
Copying license files...
Installing uninstall scripts...
DataBase Initialization...

インストールが正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリーの仮想パス)/cbgrn/grn.cgi

例) http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
例) http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
[root@garoon admin]#
```

## 17 ガルーンの初期設定をします。

「2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する」-26 ページ

### 補足

- バージョン 3.5.0 以降のガルーンは、インストール時にガルーンを初期化するため、使用開始前に初期化する必要はありません。  
使用開始後、サンプルデータと試用期間中に登録したデータなどを削除する場合にガルーンを初期化します。  
「2.3.3 初期化する」 - 24 ページ
- ガルーンの URL にアクセスしても正常に画面が表示されない場合は、次の内容を確認してください。
  - Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーに対して、Web サーバーの実行ユーザー（例：apache）に読み取り権限が付与されている。
  - Webサーバーに仮想ディレクトリーが正しく設定されている。  
仮想ディレクトリーの作成方法は、弊社Webサイトを参照してください。  
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>
  - SELinux が無効になっている。
- ガルーンとデータベースエンジンのインストールログは、次の場所に出力されます。
  - ガルーンのインストールログ：(インストーラーを実行したディレクトリー)/install.log
  - データベースエンジンのインストールログ：(インストーラーを実行したディレクトリー)/install\_cyde.log

### 2.3.3 初期化する

サンプルデータや試用期間中に登録したデータなどを削除する場合にガルーンを初期化します。

ガルーンの Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーンを初期化します。

### 注意

- ガルーンの初期化中に初期化をキャンセルすると、ガルーンを使用できなくなる場合があります。ガルーンの初期化を途中でキャンセルした場合は、初期化する前のガルーンに戻して最初から操作をやり直してください。

#### 1 コマンドラインを起動し、次のディレクトリーに移動します。

cd (CGI 実行可能ディレクトリー)/(インストール識別子)

例：cd /var/www/cgi-bin/cbgrn

#### 2 次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
./grn_command -f code/command/grn_initialize.csp db_admin_password='cybozu' db_user_password='cybozu'  
garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo' default_locale='ja' init_data='1'
```

#### • パラメーター

db_admin_password	データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。
db_user_password	データベース接続ユーザーのパスワードを入力します。
garoon_admin_password	Administrator のパスワードを入力します。
default_timezone	タイムゾーンの情報を入力します。
default_locale	ロケールの情報です。利用する言語を、日本語、英語および中国語から選択します。 ja: 日本語 en: 英語 zh: 中国語
init_data	データをインストールするかどうかを指定します。 ・2: 標準データとサンプルデータをインストールする ・1: 標準データをインストールする ・0: 何もインストールしない



- 3 「y」を入力し、Enter キーを押します。  
「n」を入力し、Enter キーを押すと、初期化が中止されます。

```
Do you really initialize Garoon? (y/[n]) :
```

- 4 初期化が正常に終了したことを確認します。

```
Done in 36 seconds.
```

### grn\_initialize.log を確認する

初期化が正常に終了したかどうかを grn\_initialize.log で確認できます。

既定のディレクトリーにガルーンをインストールした場合、grn\_initialize.log は次のディレクトリーに保存されています。

```
/var/www/cgi-bin/cbgrn
```

### grn\_initialize.log の例

```
2013-04-10 10:45:11 Writing to log file: /var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_initialize.log
2013-04-10 10:45:11 Garoon: Version 3.7.0
2013-04-10 10:45:11 Operating System: Linux chiba.dev.cybozu.co.jp 2.6.32-220.el6.x86_64 #1 SMP Wed Nov 9
08:03:13 EST 2011 x86_64
2013-04-10 10:45:11 Command Line Parameters: db_admin_password='cybozu' db_user_password='cybozu'
garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo' default_locale='ja' init_data='1'
2013-04-10 10:45:11 Starting
2013-04-10 10:45:17 Done in 36 seconds.
```

a)

- a): 初期化が終了すると、処理にかかった時間が表示されます。

## 2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する

ガルーンの初期化が終了したら、お客様情報やシステム管理者の情報を登録します。

### 2.4.1 お客様情報を登録する

ガルーンのシステム管理画面にアクセスし、お客様情報を登録します。

1 次のどちらかの URL にアクセスします。

Windows 環境: `http://(サーバーの IP アドレスまたはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/system/index`

Linux 環境: `http://(サーバーの IP アドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/system/index`

2 Administrator のログイン名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

3 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [お客様情報] > [お客様情報の確認]の順にクリックします。

4 「お客様情報の確認」画面で、[変更する]をクリックします。

5 「お客様情報の変更」画面で、必要な項目を設定し、[変更する]をクリックします。

設定する項目は、次のとおりです。

法人名: 法人名を入力します。

法人名(よみ): 法人名の読みを入力します。

ロゴ(URL): Web サーバー上の画像をロゴとして指定する場合に、URL を入力します。

ロゴ(ファイル): パソコンに保存されている画像をロゴとして指定する場合に、ファイルを指定します。

#### 注意

- ロゴに使う画像をファイル形式で指定した場合、ユーザーがガルーンにアクセスするたびに、画像がサーバーから取り込まれます。その結果、サーバーに負荷が掛かり、パフォーマンスが低下するおそれがあります。ロゴの画像ファイルは、URL で指定することを推奨します。

### 2.4.2 システム管理者を指定する

ユーザーに Administrator ロールを付与し、システム管理者として指定します。

#### ユーザーを追加する

ガルーンを使用するユーザーを追加します。

1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ユーザー] > [組織/ユーザーの設定]の順にクリックします。

2 「組織/ユーザーの設定」画面で、[ユーザーを追加する]をクリックします。

3 「ユーザーの追加」画面で、必要な項目を入力し、[追加する]をクリックします。

登録したユーザーは「(組織に未所属のユーザー)」に所属します。

## ユーザー情報の入力項目

項目	説明
名前 *	ユーザーの名前を入力します。標準には、ドロップダウンリストから日本語、English、中文のいずれかの言語を選択し、ユーザーの名前を入力します。英語表記には、ユーザーの名前をアルファベットで入力します。
ログイン名 *	ユーザーのログイン名を入力します。ほかのユーザーとは異なるログイン名を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
パスワード(確認)	確認用にユーザーのパスワードを入力します。
ロケール	ロケールを選択します。「ロケールの設定」画面に、ロケールが登録されていない場合は、選択できません。
拠点	拠点を選択します。「拠点の設定」画面に拠点が登録されていない場合は、選択できません。
所属組織	ユーザーが所属する組織が表示されます。[所属する組織を変更する]をクリックすると、所属する組織を変更できます。
優先する組織	優先する組織を選択します。
表示優先度	ユーザーの一覧画面で表示されるユーザーの表示順を「0(ゼロ)」以上の整数で入力します。ユーザーは表示優先度の昇順で表示されます。表示優先度が重複するユーザーは、ガルーンに登録された順に表示されます。
使用の停止	アカウントを停止する場合、チェックを入れます。チェックを入れると、そのユーザーはガルーンにアクセスできません。
よみ	ユーザーの名前のよみを入力します。
E-mail	ユーザーの E-mail アドレスを入力します。
メモ	ユーザーに関するメモを入力します。
役職	ユーザーの役職を入力します。
連絡先	ユーザーの連絡先を入力します。
URL	ユーザーまたはユーザーに関連する Web サイトの URL を入力します。
画像	「ユーザー情報の詳細」画面に表示する画像ファイルを指定します。

\*: は必須項目です。

## ユーザーをシステム管理者に指定する

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ユーザー] > [ロールの設定]の順にクリックします。
- 2 「ロールの設定」画面で、[Administrators] > [ロールを所持させる]の順にクリックします。
- 3 「ロールの所持」画面のツリー表示で、ユーザーの所属する組織、または[(組織に未所属のユーザー)]を選択します。
- 4 システム管理者に指定するユーザーを選択し、[追加]をクリックします。  
候補に追加したユーザーを解除する場合、下の欄で解除するユーザーを選択し、[削除]をクリックします。
- 5 [所持させる]をクリックします。

## 2.4.3 サイボウズ データベースエンジンの設定を変更する

サーバマシンの搭載メモリー量が 4GB 以上の場合は、mysqld の設定を変更します。mysqld の設定を変更する

## 2章 インストールする

には、サイボウズ データベースエンジンの設定ファイル(my.ini)を変更します。

サイボウズ データベースエンジンがインストールされているサーバーマシンの搭載メモリー量によって、my.ini ファイルの設定値が異なります。

### my.ini の推奨値

メモリー		搭載メモリー量					
		4~8GB	8~12GB	12~16GB	16~24GB	24~48GB	48GB 以上
ガルーンの使用メモリー量		2GB	5.2GB	8.4GB	12GB	18GB	36GB
my.ini ファイル の設定値	sort_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	join_buffer_size	3M	3M	3M	3M	3M	3M
	read_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	read_rnd_buffer_size	2M	2M	2M	2M	2M	2M
	thread_cache_size	50	50	50	50	50	50
	max_connections	50	50	50	50	50	50
	innodb_buffer_pool_size	1500M	4500M	7800M	11500M	17600M	36100M

### 注意

- OS やほかのシステムが使用するメモリー量を考慮し、サーバーマシンで使用するメモリー量の合計が、サーバーマシンの搭載メモリー量以下になるように、my.ini ファイルを変更します。
- 上記の「my.ini の推奨値」は 64bit OS の推奨値です。  
32bit の Linux で 4GB 以上を認識させることはできませんが、その場合、32bit OS として扱い、上記の推奨値は適用しないでください。  
32ビット OS の問題により、MySQL(1 プロセス)の使用メモリーが 2GB を超えると、サーバーがクラッシュする可能性があります。

### 補足

- my.ini ファイルの設定の詳細は、オフィシャルパートナーまたは販売元にお問い合わせください。  
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>
- サーバーマシンの搭載メモリー量が 4GB 未満の場合は、mysqld は自動的に設定されます。

## my.ini ファイルを変更する

my.ini ファイルを設定する手順を説明します。

### Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。  
「cbgrn」の値は、インストール識別子によって異なります。
- 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- my.ini ファイルをバックアップします。  
既定のディレクトリーにインストールした場合は、my.ini のファイルの場所は次のとおりです。  
C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini

- 5 my.ini ファイルの値を変更します。  
「my.ini の推奨値」 - 28 ページ
- 6 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
- 7 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

## Linux 環境

- 1 スケジューリングサービスを停止します。  
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss\_cbgrn stop
- 2 サイボウズ データベースエンジンを停止します。  
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde\_5\_0 stop
- 3 my.ini ファイルをバックアップします。  
既定のディレクトリーにインストールした場合は、my.ini のファイルの場所は次のとおりです。  
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini
- 4 my.ini ファイルの値を変更します。  
「my.ini の推奨値」-28 ページ
- 5 サイボウズ データベースエンジンを起動します。  
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde\_5\_0 start
- 6 スケジューリングサービスを起動します。  
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss\_cbgrn start

## 3章 バージョンアップする

---

バージョン 3.5.xからのみ、バージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップできます。

バージョン 3.1.3 以前のガルーンは、バージョン 3.5.0 にバージョンアップする必要があります。

### 重要

- ガルーンを運用している環境によって、バージョンアップに必要な条件が異なります。ガルーンをバージョンアップする前に、チェックリストを確認してください。  
『サイボウズ ガルーン 3.7.0 バージョンアップチェックリスト』(PDF ファイル)は、次の URL からダウンロードできます。

[http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/pdf/Gr370\\_VerUp\\_checklist\\_HP.pdf](http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/pdf/Gr370_VerUp_checklist_HP.pdf)

### 注意

- バージョンアップする前に、運用中のガルーンの詳細データを必ずバックアップしてください。バックアップについては、『管理者マニュアル』の「ガルーンの詳細」を参照してください。
- バージョンアップ中は、処理を中止しないでください。
- パワーアップキットシリーズ<sup>1</sup>を利用している場合は、ガルーンの詳細バージョンアップ手順が異なります。バージョンアップの際は、必ずオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<sup>1</sup>: 2016 年 8 月現在の対象製品は、次のとおりです。

- パワーアップキットシリーズ カスタマーノート for ガルーン
- パワーアップキットシリーズ ワークフロー ペーパーレイアウト for ガルーン
- パワーアップキットシリーズ ワークフロー 外部 DB 連携 for ガルーン
- パワーアップキットシリーズ マルチカンパニー for ガルーン
- パワーアップキットシリーズ グループメール for ガルーン
- サーバマシンに Zaseki 7 for ガルーン 2 がインストールされている場合は、ガルーンをバージョンアップする前に、Zaseki 7 for ガルーン 2 をアンインストールする必要があります。  
詳細は次の FAQ を参照してください。

<http://faq.cybozu.info/alphascope/cybozu/web/garoon3/Detail.aspx?id=998>

### 補足

- 作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。  
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

### バージョン 3.5.x からバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップする

最新版のインストーラーを使用して、ガルーンをバージョンアップします。

「3.1 Windows 環境でバージョンアップする」 - 31 ページ

「3.2 Linux 環境でバージョンアップする」 - 36 ページ

### バージョン 2.5.x、3.0.x、または 3.1.x からバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップする

バージョン 3.5.0 にバージョンアップしてから、3.7.0 のガルーンにバージョンアップします。

バージョン 3.5.0 のインストーラーは、サーバーの OS に合わせてダウンロードしてください。

作業手順はバージョン 3.5.0 のインストールマニュアルを参照してください。

- バージョン 3.5.0 のインストーラー: <http://products.cybozu.co.jp/garoon3/download/archive/>
- バージョン 3.5.0 のインストールマニュアル: [https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

## バージョン 2.1.3 以前からバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップする

バージョン 2.1.3 より前のガルーンは、2.1.3 のガルーンにバージョンアップします。

バージョン 2.1.3 から 3.5.0 のガルーンにバージョンアップし、バージョンアッププログラムを適用してから、3.7.0 のガルーンにバージョンアップします。

バージョン 3.5.0 のインストーラーとバージョンアッププログラムは、サーバーの OS に合わせてダウンロードしてください。

作業手順はそれぞれのマニュアルを参照してください。

- バージョン 3.5.0 のインストーラー: <http://products.cybozu.co.jp/garoon3/download/archive/>
- バージョン 3.5.0 のインストールマニュアル: [https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)
- バージョンアッププログラムのインストーラーおよびマニュアル: <http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>

### 補足

- バージョン 3.5.0 のインストーラーは、アーカイブライブラリーからダウンロードします。アーカイブライブラリーにアクセスするために必要なユーザー名とパスワードは、サポートオンラインの「ダウンロード」を参照してください。

## バージョンと CGI のメモリー消費量

バージョン 3.5.0 より前のガルーンを 3.5.0 以降のバージョンにバージョンアップすると、CGI のプロセスあたりのメモリー消費量が増加します。

バージョンごとの、CGI のプロセスあたりのメモリー消費量は、次のとおりです。

バージョン	CGI のメモリー消費量
2.0.0 から 3.5.0 まで	約 40MB
3.5.0 以降	約 55MB

ガルーンの利用状況や環境によって、Web サーバーに搭載する必要があるメモリーの量が変わります。

メモリーの追加の必要性については、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

## 3.1 Windows 環境でバージョンアップする

次の環境が使用されている場合を例に、Windows 環境でバージョンアップする手順を説明します。

- Web サーバー: IIS 7.0
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: C:\inetpub\scripts
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: C:\inetpub\wwwroot
- 既定のインストール識別子: cbgrn

### 注意

- 作業の前に、バージョンアップの注意事項を確認してください。  
「3章 バージョンアップする」-30 ページ

### 3.1.1 バージョンアップの準備をする

ガルーンをバージョンアップするには、次の準備が必要です。

#### データベース管理ユーザーのパスワードを用意する

インストール時に設定したデータベース管理ユーザーのパスワードが必要です。  
「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

#### IIS の設定を変更する

バージョンアップ前と異なるバージョンの IIS でガルーンを運用する場合は、IIS のモジュールマップを設定します。詳細は次のページを参照してください。

「Windows 環境で IIS を利用する」-17 ページ

#### 全文検索サーバーを停止する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを停止します。

##### Windows 環境

- CybozuSearchServercbsearch
- Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0

##### Linux 環境

- cbss\_cbsearch
- cyde\_5\_0

全文検索サーバーのサービスの停止方法は次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_other](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other)

### 3.1.2 バージョンアップする

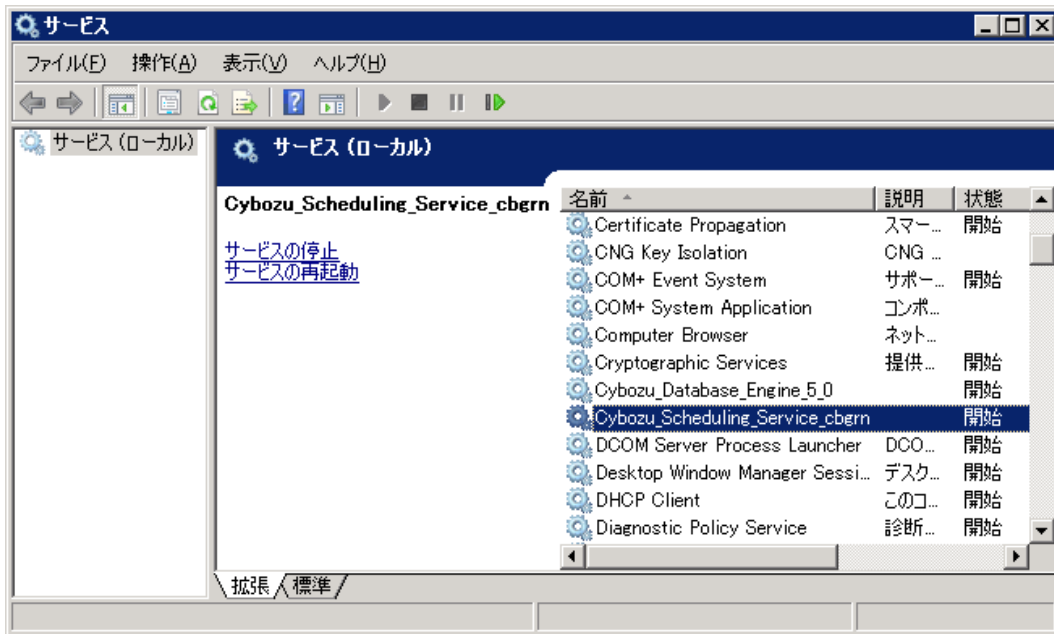
Windows 環境で、3.7.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

#### 注意

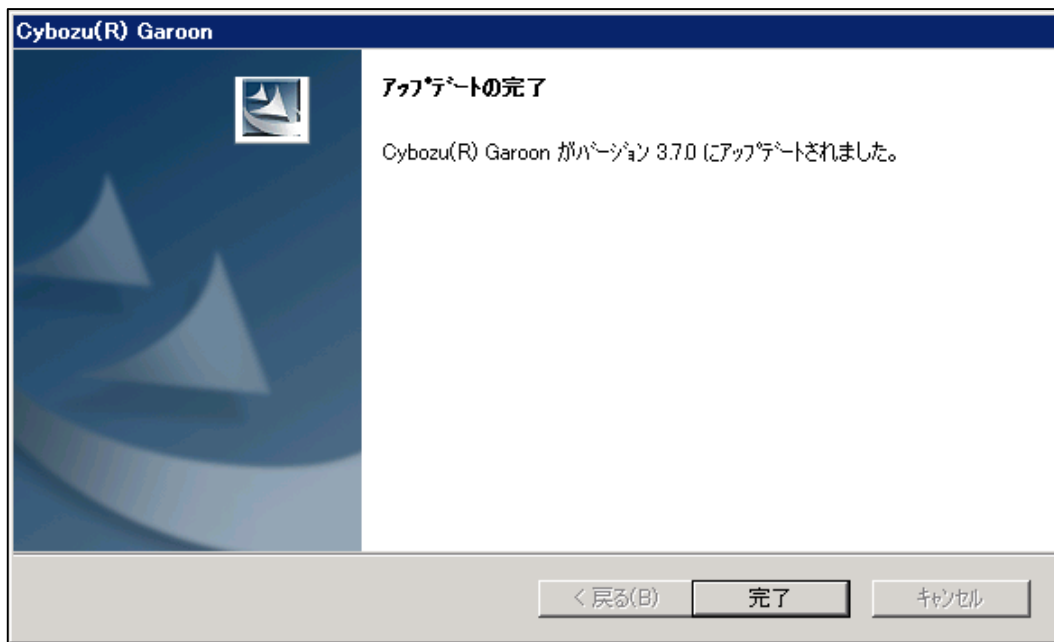
- バージョンアップの作業を開始する前に、すべての Windows プログラムを終了する必要があります。
- 1 ガルーンがインストールされているサーバーマシンに、インストール先のサーバーの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。  
運用中のガルーンのデータをバックアップします。  
バックアップについては『管理者マニュアル』の「ガルーンの保守」を参照してください。
  - 2 サーバーマシンの Web サーバーを停止します。
  - 3 Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。



- 4 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。



- 5 Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0 の状態が「開始」になっていることを確認し、サービスのウィンドウを閉じます。  
Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0 が停止している場合は、[サービスの開始]をクリックして、サービスのウィンドウを閉じます。ウィンドウを開いたままバージョンアップを進めると、バージョンアップに失敗するおそれがあります。
- 6 バージョン 3.7.0 のガルーンのインストーラーを起動します。
- 7 「検出された製品の確認」画面で「下で選択した製品をアップデートする」を選択します。
- 8 バージョンアップする製品を選択し、[次へ]をクリックします。
- 9 データベース管理ユーザーのパスワード入力し、[次へ]をクリックします。
- 10 「アップデートの完了」画面で、[完了]をクリックします。



11 Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。

12 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの再起動]をクリックします。

Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0 の状態が「開始」であることを確認します。

補足:

- バージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップすると、my.ini ファイルの値が変更されます。変更された内容を適用するために、サイボウズ データベースエンジンを再起動する必要があります。この作業は、Windows 版のインストーラーを使用する場合のみ必要です。

13 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

スケジューリングサービスの状態が「開始」であることを確認します。

14 サーバマシンの Web サーバーを起動します。

#### 補足

- バージョンアップ中に次のメッセージが表示された場合、バージョンアップの必要はありません。[いいえ(N)]をクリックし、バージョンアップを中止します。  
「Cybozu(R) Garoon のバージョン 3.7.0 がすでにインストールされています。」
- バージョンアップを実行すると、ログは次の場所に出力されます。
  - ガルーンおよびデータベースエンジンのインストールログ  
64bit OS: C:\WINDOWS\System32\Wow64\cb\_installer.log  
32bit OS: C:\WINDOWS\System32\cb\_installer.log
  - バージョンアップログ: C:\inetpub\scripts\cbgrn\versionup\_###.log<sup>1</sup>  
1: ###は 3 桁の数字を表します。
  - 設定ファイルの更新ログ: C:\inetpub\scripts\cbgrn\renew\_ini.log
  - MySQL のエラー: C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\data\error.log

### 3.1.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする

32ビット OS の環境でバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップした後、64ビット OS の環境にインストールしたガルーンにデータを移行します。

- 1 32ビット OS の環境で、バージョン 3.5.0 以降のガルーンをバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップします。  
「3.1.1 バージョンアップの準備をする」 - 32 ページ  
「3.1.2 バージョンアップする」 - 32 ページ
- 2 64ビット OS の環境に、バージョン 3.7.0 のガルーンをインストールします。  
「2.2 Windows 環境にインストールする」 - 11 ページ
- 3 手順 1 でバージョンアップしたガルーンのデータをバックアップし、手順 2 でインストールしたガルーンにリストアします。  
データのバックアップ、リストア、およびサーバーの移行手順については、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン 管理者マニュアル』「32ビット OS から 64ビット OS にガルーンを移行する」

### 3.2 Linux 環境でバージョンアップする

---

次の環境が使用されている場合を例に、Linux 環境でバージョンアップする手順を説明します。

- Web サーバー: Apache
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: /var/www/html
- 既定のインストール識別子: cbgrn

#### 注意

- 作業の前に、バージョンアップの注意事項を確認してください。  
「3章 バージョンアップする」-30 ページ
- Web サーバーの実行ユーザーが実行および書き込み可能なディレクトリーに、インストーラーを配置します。配置するディレクトリーまでのすべてのディレクトリーに、実行権限および書き込み権限が必要です。

#### 補足

- 作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。  
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

#### 3.2.1 バージョンアップの準備をする

ガルーンをバージョンアップするには、次の準備が必要です。

##### データベース管理ユーザーのパスワードを用意する

インストール時に設定したデータベース管理ユーザーのパスワードが必要です。  
「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

##### ライブラリーを確認する

使用している環境に、ガルーンを運用するために必要なライブラリーがインストールされていることを確認します。ガルーンが使用するライブラリーについて、詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

[http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux\\_library.html](http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux_library.html)

##### 全文検索サーバーを停止する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを停止します。

##### Windows 環境

- CybozuSearchServercbsearch
- Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0

##### Linux 環境

- cbss\_cbsearch
- cyde\_5\_0

全文検索サーバーのサービスの停止方法は、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_other](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other)

### 3.2.2 バージョンアップする

Linux 環境で、バージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。

2 サーバマシンの Web サーバーを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd stop
```

3 スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

4 データベースエンジンの状態を確認します。

```
[root@garoon admin] # /etc/init.d/cyde_5_0 status
```

データベースエンジンが停止している場合は起動します。

```
[root@garoon admin] # /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

5 インストーラーが存在するディレクトリーに移動します。

6 インストーラーを実行します。

- 64bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.7.0-linux-x64.bin
```

- 32bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.7.0-linux.bin
```

7 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

上記のメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

8 試用許諾契約に同意する場合は yes と入力し、Enter キーを押します。

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

試用許諾契約に同意しない場合は no を入力し、Enter キーを押します。バージョンアップを終了します。

9 バージョンアップするガルーンのインストール識別子を確認します。

10 インストール識別子を入力し、Enter キーを押します。

11 「1」を入力し、Enter キーを押します。

12 プログラムファイルのインストール先を確認し、データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

13 表示された内容を確認し、正しければ yes と入力して、Enter キーを押します。

インストールが始まります。

no を入力して、Enter キーを押すと、インストールが終了します。

```
Summary of install configuration

プログラムファイルのインストール先: /usr/local/cybozu
データベース管理ユーザー: cbroot
データベース管理ユーザーのパスワード: cybozu
インストール識別子: cbgrn
Web サーバーの実行ユーザー: apache
CGI プログラムのインストール先: /var/www/cgi-bin/cbgrn
画像ファイルのインストール先: /var/www/html/cbgrn
サイボウズ データベースエンジンとの通信に使用するポート番号: 3770
スケジューリングサービス起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
製品の削除スクリプト: /var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn
サイボウズ データベースエンジン起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
サイボウズ データベースエンジン削除スクリプト: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0
上記の設定でインストールします。よろしいですか？
[yes or no]: yes
```

14 バージョンアップが正常に終了したことを確認します。

```
Installing Cybozu Database Engine...
installing DB Script...
Restore MySQL Table
MySQL Restore is success!
Installing Cybozu Scheduling Service...
Installing Web files...
Copying license files...
Installing uninstall scripts...

インストールが正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリーの仮想パス)/cbgrn/grn.cgi

例) http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
例) http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
[root@garoon admin]#
```

15 スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

16 スケジューリングサービスが起動したことを確認します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn status
```

スケジューリングサービスが起動していると、実行中のプロセス番号が表示されます。

プロセス番号の表示例:

```
sched(31622) is running...
```

### 17 サーバマシンの Web サーバーを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd start
```

### 18 サーバマシンの Web サーバーが起動したことを確認します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd status
```

Web サーバーが起動していると、実行中のプロセス番号が表示されます。

プロセス番号の表示例:

```
httpd (pid 21583 21576 21575 21573 21572 21571 21570 21569 21568) を実行中...
```

#### 補足

- バージョンアップを実行すると、ログが出力されます。ログの出力先は次のとおりです。
- ガルーンのインストール結果: /(<インストーラーを実行したディレクトリー>)/install.log
- データベースエンジンのインストール結果: /(<インストーラーを実行したディレクトリー>)/install\_cyde.log

## 3.2.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする

32 ビット OS の環境でバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップした後、64 ビット OS の環境にインストールしたガルーンにデータを移行します。

### 1 32 ビット OS 環境で、バージョン 3.5.x のガルーンをバージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップします。

「3.2.1 バージョンアップの準備をする」 - 36 ページ

「3.2.2 バージョンアップする」 - 37 ページ

### 2 64 ビット OS 環境に、バージョン 3.7.0 のガルーンをインストールします。

「2.3 Linux 環境にインストールする」 - 20 ページ

### 3 手順 1 でバージョンアップしたガルーンのデータをバックアップし、手順 2 でインストールしたガルーンにリストアします。

データのバックアップ、リストア、およびサーバーの移行手順については、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン 管理者マニュアル』「32 ビット OS から 64 ビット OS にガルーンを移行する」

### 3.3 バージョンアップ後に必要な作業

---

バージョンアップ前のガルーンのバージョンによって、必要な作業が異なります。

#### 3.3.1 バージョン 3.5.0 より前からバージョンアップした場合

バージョン 3.5.0 にバージョンアップした後、次の作業が必要です。

- テーブルキャッシュサイズを変更する
- 認証パスワードを再設定する
- バージョン 3.0.0 より前のガルーンからバージョンアップした場合は、新しいライセンスを登録する
- 権限削除プログラムを実行する
- PHP ポートレットを確認する
- LDAP に SSL で接続する場合の設定変更
- リモートサービスの製品情報を更新する

必要な作業を終了していない場合は、バージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップした後、作業を行います。

作業の詳細は、『インストールマニュアル』第 4.x 版を参照してください。

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

#### 3.3.2 バージョン 3.5.x からバージョンアップした場合

必要に応じて次の作業を行います。

### ログを確認する

ファイルの更新が正常に終了したかどうかを確認するために、ログファイルの内容を確認します。

ログファイルには、次の結果が出力されます。

- MySQL の更新結果
- ガルーンで使用するデータの更新結果
- 更新プログラムの実行結果

既定のディレクトリにガルーンをインストールしている場合は、次のファイルにログが出力されます。

### は 3 桁の数字を表します。

#### Windows 環境の場合

- 更新プログラムの実行結果: C:\inetpub\scripts\cbgrn\versionup\_###.log
- MySQL のエラー: C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\data\error.log

#### Linux 環境の場合

- ガルーンのインストール結果: /(インストーラーを実行したディレクトリ)/install.log
- データベースエンジンのインストール結果: /(インストーラーを実行したディレクトリ)/install\_cycle.log
- 更新プログラムの実行結果: /var/www/cgi-bin/cbgrn/versionup\_###.log



- MySQL のエラー: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/error.log

## versionup\_###.log の見かた

Windows 環境を例として説明します。

```
[Thu, 07 Mar 2013 16:56:08 +0900] DB root password corrected!
[Thu, 07 Mar 2013 16:56:08 +0900] start upgrading mysqldb
(省略)
20130307 16:56:33 [INFO] Started grn3.7.0_local_main.
20130307 16:56:33 [INFO] Updated the version number of system attribute. 3.7.0
20130307 16:56:33 [INFO] Start execDiffSql()
20130307 16:56:42 [INFO] End execDiffSql()
20130307 16:56:42 [INFO] Start execDropSql()
20130307 16:56:55 [INFO] End execDropSql()
20130307 16:56:55 [INFO] Start initThumbnail
20130307 16:56:56 [INFO] End initThumbnail
20130307 16:56:56 [INFO] Finished grn3.7.0_local_main.
20130307 16:56:56 [INFO] Started grn370_remote_main.
20130307 16:56:56 [INFO] Finished grn370_remote_main.
20130307 16:56:56 [INFO] Finished updating.

[Thu, 07 Mar 2013 16:56:56 +0900] 20130307 16:56:56 [INFO] Started updating after
installation.
20130307 16:56:56 [INFO] Remove all files of smarty cache directory.
20130307 16:56:56 [INFO] Remove all the session data.
20130307 16:56:56 [INFO] Finished updating after installation.

[Thu, 07 Mar 2013 16:56:56 +0900] start removing versionup scripts
[Thu, 07 Mar 2013 16:56:56 +0900] end removing versionup scripts
```

The diagram shows two groups of log entries. Group 'a)' is indicated by a bracket on the right side, encompassing the entries from '20130307 16:56:33 [INFO] Started grn3.7.0\_local\_main.' to '20130307 16:56:56 [INFO] Finished updating.'. Group 'b)' is indicated by a bracket on the right side, encompassing the entries from '[Thu, 07 Mar 2013 16:56:56 +0900] 20130307 16:56:56 [INFO] Started updating after installation.' to '20130307 16:56:56 [INFO] Finished updating after installation.'.

- a) : ガルーンで使用するデータの更新結果
- b) : 更新プログラムの実行結果

### 注意

- 「INFO」か「OK」以外のステータスが出力された場合は、メッセージの内容に合った対応が必要です。エラーの原因が不明な場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。  
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

## PHP ポートレットを確認する

古いバージョンの PHP を使用している PHP ポートレットを使うと、エラーが発生する場合があります。バージョンアップ後も同じ PHP ポートレットを使用する場合は、エラーが発生しないことを確認してから公開してください。

対応するガルーンと PHP のバージョンは、次のとおりです。

- ガルーン バージョン 3.1.0 まで: PHP4
- ガルーン バージョン 3.1.0 以降: PHP5

## LDAP に SSL で接続するために必要な設定を確認する

ガルーンで利用している LDAP に SSL で接続する場合は、接続のための設定が必要です。設定の手順については、弊社の Web サイトを参照してください。

<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

## 全文検索サーバーを起動する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを起動します。

- Windows 環境
  - CybozuSearchServercbsearch
  - Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0
- Linux 環境
  - cbss\_cbsearch
  - cyde\_5\_0

全文検索サーバーのサービスの起動方法について、詳細は次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_other](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other)

## 3.4 バージョンアップに失敗したガルーンの復旧方法

バージョン 3.7.0 のガルーンにバージョンアップできなかった場合は、次の手順で元のバージョンのガルーンに復旧します。

### 1 バージョンアップのログをバックアップします。

失敗したバージョンアップのログをバックアップします。このログは、失敗の原因を調査する際に必要です。バックアップが必要なログは、次のページを参照してください。

「ログを確認する」 - 40 ページ

### 2 バージョン 3.7.0 のガルーンをアンインストールします。

アンインストール方法は「完全アンインストール」を指定します。

「4 章 アンインストールする」 - 44 ページ

### 3 元のバージョンのガルーンを新規でインストールします。

バージョンアップ前にガルーンの Service Pack を適用していた場合は、同じ Service Pack を適用します。

インストール方法は、各バージョンのインストールマニュアルを参照してください。

バージョン 3.5.0 以降: [https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

バージョン 3.1.x 以前: <http://manual.cybozu.co.jp/garoon3/index.html#01>

### 4 バックアップしたガルーン的数据をリストアします。

バージョンアップ前にバックアップしたガルーン的数据を、手順 3 でインストールしたガルーンにリストアします。

データのリストア方法は、各バージョンの管理者マニュアルを参照してください。

バージョン 3.5.0 以降: [https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_admin](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_admin)

バージョン 3.1.x 以前: <http://manual.cybozu.co.jp/garoon3/index.html#02>

#### 補足

- 上記以外の方法で元のガルーンに復旧することはできません。

## 4章 アンインストールする

ガルーンをアンインストールする手順を説明します。

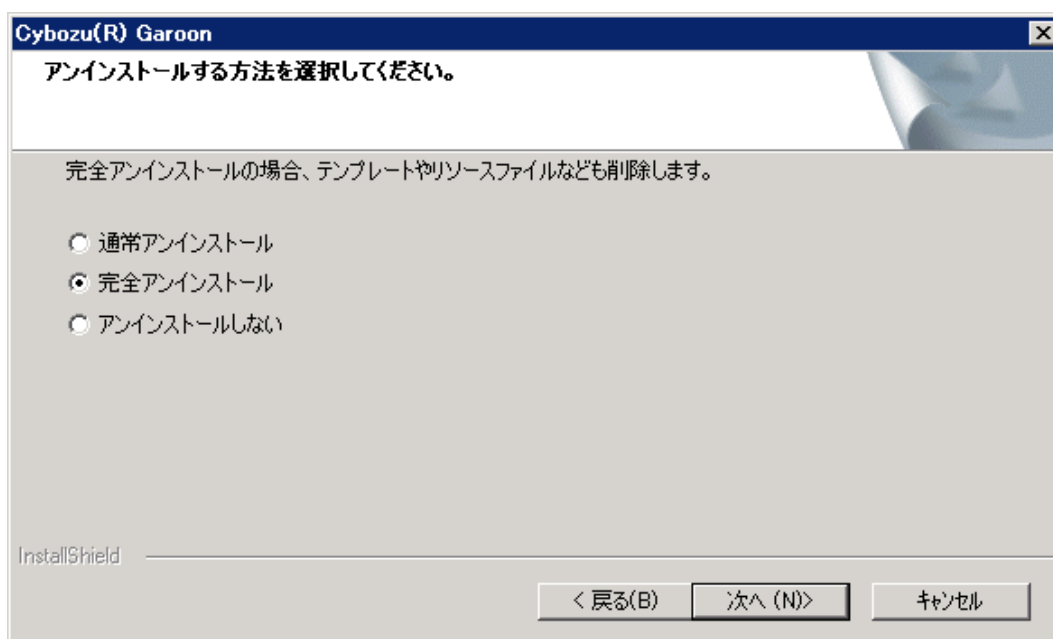
### 4.1 Windows 環境でアンインストールする

Windows 環境で、ガルーンをアンインストールする手順を説明します。

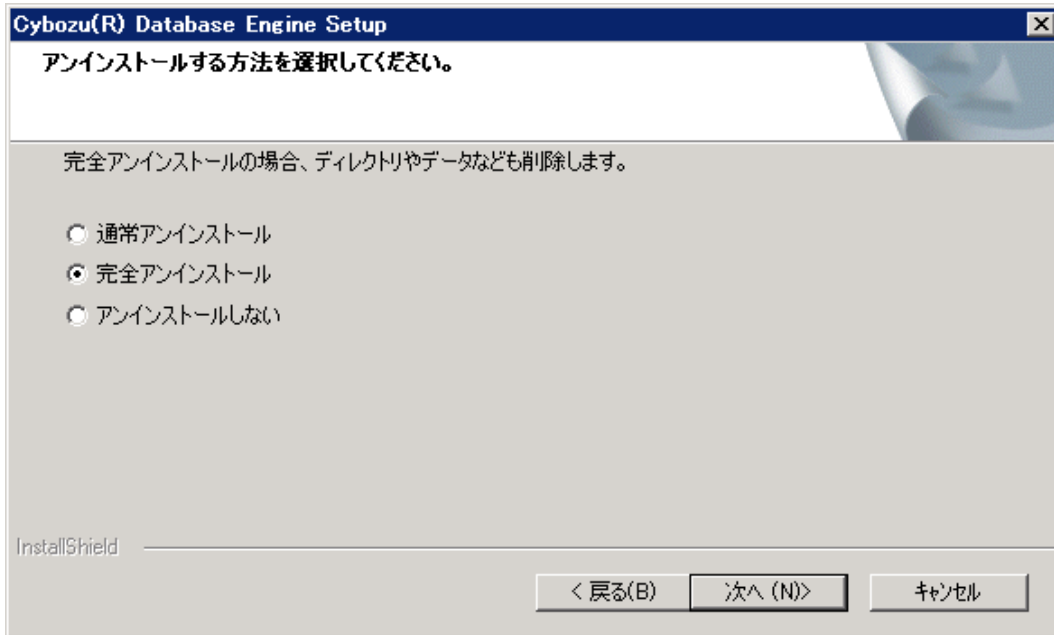
#### 注意

- 下記の手順に従ってアンインストールしないと、完全にアンインストールできない場合があります。

- 1 サーバマシンに、インストール先のサーバの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
- 2 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [プログラムと機能]の順に選択します。  
Windows Server 2012 は、[コントロールパネル] > [プログラム] > [プログラムと機能]の順に選択します。
- 3 「プログラムと機能」画面で、「Cybozu(R) Garoon 3.7.0 (cbgrn)」を選択し、[アンインストール]をクリックします。  
補足：  
「cbgrn」はインストール識別子です。環境に合わせて読み替えてください。
- 4 「完全アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックします。  
アンインストールが始まります。  
アンインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



- 5 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。  
次に「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を削除します。
- 6 「プログラムと機能」画面で、「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を選択し、[アンインストール]をクリックします。
- 7 「完全アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックします。  
アンインストールが始まります。  
アンインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



## 4.2 Linux 環境でアンインストールする

---

Linux 環境で、ガルーンをアンインストールする手順を説明します。アンインストールには、インストーラーを使用します。

### 注意

- 下記の手順に従ってアンインストールしないと、完全にアンインストールできない場合があります。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。

2 インストーラーが存在するディレクトリに移動します。

3 インストーラーを実行します。

- 64bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.7.0-linux-x64.bin
```

- 32bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.7.0-linux.bin
```

4 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

```
このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。
```

```
If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.
```

5 試用許諾契約を確認し、同意する場合は yes を入力し、Enter キーを押します。

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

試用許諾契約に同意しない場合は、「no」を入力し、Enter キーを押します。インストーラーが終了します。

6 アンインストールするガルーンのインストール識別子を確認します。

7 インストール識別子を入力し、Enter キーを押します。

8 製品を完全にアンインストールする場合は、「3」を入力し、Enter キーを押します。

設定ファイルやデータベースファイルなどのリソースを残して、アンインストールする場合は、「2」を入力します。

9 サイボウズ データベースエンジンを完全にアンインストールする場合は、「3」を入力し、Enter キーを押します。

これで作業は終了です。

# 付録A サービスの停止方法と起動方法

スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの、停止方法と起動方法を説明します。ここでは、インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に説明します。

## 注意

- インストール先のサーバーの Administrator 権限を持つユーザーまたは root ユーザーで作業を行います。

## 付録A.1 サービスを停止する

スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。

### Windows 環境

- 1 Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 2 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- 3 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。

### Linux 環境

- 1 スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

- 2 サイボウズデータベースエンジンを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

## 付録A.2 サービスを起動する

サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

### Windows 環境

- 1 Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 2 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
- 3 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

## Linux 環境

- 1 サイボウズデータベースエンジンを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

- 2 スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```



# 付録B IPv6 環境で必要な設定

通信に IPv6 を使用している環境でガルーンを運用する場合は、設定ファイル(my.ini)を変更する必要があります。

## Windows 環境

- 1 サーバマシンに、サーバの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
- 2 Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 3 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- 4 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- 5 my.ini ファイルを開きます。  
既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。  
C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥etc¥my.ini
- 6 [mysqld]セクションに、「bind-address=::」を追加します。

変更前:

```
#UNCOMMENT_ONPRE_LIN user      = %HTTPD_USER%
skip-name-resolve
port                             = 3770
#socket                          = C:/Program Files/Cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock
(省略)
```

変更後:

```
#UNCOMMENT_ONPRE_LIN user      = %HTTPD_USER%
skip-name-resolve
port                             = 3770
#socket                          = C:/Program Files/Cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock
bind-address=::
(省略)
```

- 7 Windows のスタートメニューから、[管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 8 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
- 9 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

## Linux 環境

- 1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。

2 スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

3 サイボウズ データベースエンジンを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

4 my.ini ファイルを開きます。

既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。

例: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

5 [mysqld]セクションに、「bind-address=::」を追加します。

変更前:

```
[mysqld]
user      = apache
skip-name-resolve
port      = 3770
socket    = /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock
(省略)
```

変更後:

```
[mysqld]
user      = apache
skip-name-resolve
port      = 3770
socket    = /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock
bind-address=::
(省略)
```

6 サイボウズ データベースエンジンを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

7 スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

# 付録C ファイル構成

インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に、ガルーン のファイル構成を説明します。インストールされるファイルは、次の 3 つに分類されます。

- CGI アプリケーション
- サイボウズ データベースエンジン
- 画像ファイル

## 付録C.1 Windows 環境のファイル構成

### CGI アプリケーション

ガルーンの CGI アプリケーションは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリーにインストールされます。CGI アプリケーションのファイルは、CGI 実行可能ディレクトリーの下、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- CGI 実行可能ディレクトリーの例 : C:\inetpub\scripts

太字はディレクトリー、通常の文字はファイルを示しています。

C:\inetpub\scripts CGI 実行可能ディレクトリー	
<b>└─cbgrn</b>	インストール識別子
└─code	ガルーンのプログラム
└─command	
└─doc_root	
└─include	
└─pear	
└─plugin	
└─sched	
└─smarty	
└─db	
└─extensions	PHP の機能拡張に必要なファイル
└─grn	ガルーンの設定に必要な情報
└─initialize	
└─locale	ガルーンの言語別リソース
└─page	ガルーンのテンプレートファイル
└─sessiondata	PHP のセッションデータ
└─smarty	
└─cached	smarty ライブラリーのキャッシュデータ
└─compiled	smarty ライブラリーのコンパイル済みテンプレート
└─tmp	PHP スクリプト内で一時的に作成されるデータ
└─upload_temp	一時的に保管される PHP アップロードファイル
└─	
└─cacher.ini	
└─cbsearch.ini	
└─common.ini	

```

|¥db_error.log
|¥garoon.ini
|¥garoon_lwc.ini
|¥garoon_policy.ini
|¥grn.exe
|¥grn_command.exe
|¥grn_initialize.log
|¥icudt36.dll
|¥icuin36.dll
|¥icuuc36.dll
|¥libeay32.dll
|¥libmysql.dll
|¥libsasl.dll
|¥LICENSE_en.txt
|¥LICENSE_ja.txt
|¥LICENSE_zh.txt
|¥logger.ini
|¥lwc.ini
|¥php.ini
|¥php5ts.dll
|¥profile.ini
|¥sched.exe
|¥sched.ini
|¥sched.log
|¥ssleay32.dll
|¥state.ini
|¥system_admin.ini

```

## サイボウズ データベースエンジン

サイボウズ データベースエンジンのファイルは、インストールした時に指定したインストールディレクトリーに保存されます。

- インストールディレクトリーの例 : C:¥Program Files¥Cybozu

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

<b>C:¥Program Files¥Cybozu</b>	インストールディレクトリー
<b> ¥mysql-5.0</b>	サイボウズ データベースエンジンのファイル
¥bin	
¥my_print_defaults.exe	
¥mysql.exe	
¥mysql_upgrade.exe	
¥mysqladmin.exe	
¥mysqlbinlog.exe	
¥mysqlcheck.exe	
¥mysqld.exe	
¥mysqldump.exe	
¥mysqlimport.exe	

```

|
|
| └─%data                                データベースエンジンのデータやログ
|   |
|   | └─%cb_cbgrn
|   |
|   | └─%mysql
|   |
|   | └─%performance_schema
|   |
|   | %error.log
|   |
|   | %ib_logfile0
|   |
|   | %ib_logfile1
|   |
|   | %ib_logfile2
|   |
|   | %ibdata1
|   |
|   | %mysql.pid
|   |
|   | └─%slow.log
|   |
|
| └─%etc
|   |
|   | └─%Samples
|   |
|   | └─%my.ini
|   |
|
| └─%files                                ガルーンの添付ファイル
|   |
|   | └─%cbgrn
|   |
|   | └─%share
|   |
|   |   | └─%charsets
|   |   |
|   |   | └─%english
|   |   |
|   | └─%tmp
|   |
|   | └─%cb_version

```

## 画像ファイル

画像ファイルは、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- ドキュメントルートディレクトリーの例 : C:%inetpub%wwwroot

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

```

C:%inetpub%wwwroot                ドキュメントルートディレクトリー
  └─%cbgrn                          インストール識別子
    |
    | └─%3rd_party_license          サードパーティライセンス情報
    |
    | └─%api                          関連製品で使用するファイル
    |
    | └─%fw                            フレームワークに関する画像ファイルなど
    |
    | └─%grn                          ガルーンに関する画像ファイルなど
    |
    |   | └─%common
    |   |
    |   | └─%flash
    |   |
    |   | └─%html
    |   |
    |   | └─%image
    |   |
    |   |   | └─%cybozu
    |   |
    | └─%help                          ガルーンのヘルプに使用するファイル
    |
    | └─%tiny_mce                    書式編集に関する画像ファイルなど

```

## 付録C.2 Linux 環境のファイル構成

### CGI アプリケーション

ガルーンの CGI アプリケーションは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリーにインストールされます。CGI アプリケーションのファイルは、CGI 実行可能ディレクトリーの下、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- CGI 実行可能ディレクトリーの例: /var/www/cgi-bin

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

<b>/var/www/cgi-bin</b>	CGI 実行可能ディレクトリー
<b>└/cbgrn</b>	インストール識別子
<b>└/code</b>	ガルーンのプログラム
<b>└/command</b>	
<b>└/doc_root</b>	
<b>└/include</b>	
<b>└/pear</b>	
<b>└/plugin</b>	
<b>└/sched</b>	
<b>└└/smarty</b>	
<b>└/db</b>	
<b>└/extensions</b>	PHP の機能拡張に必要なファイル
<b>└/grn</b>	ガルーンの設定に必要な情報
<b>└/locale</b>	ガルーンのリソース情報
<b>└/page</b>	ガルーンのテンプレートファイル
<b>└/sessiondata</b>	PHP のセッションデータ
<b>└/smarty</b>	
<b>└/cached</b>	smarty ライブラリーのキャッシュデータ
<b>└└/compiled</b>	smarty ライブラリーのコンパイル済みテンプレート
<b>└/tmp</b>	PHP スクリプト内で一時的に作成されるデータ
<b>└/upload_tmp</b>	一時的に保管される PHP のアップロードファイル
└/acher.ini	
└/cbsearch.ini	
└/common.ini	
└/cyss_cbgrn.pid	
└/db_error.log	
└/garoon.ini	
└/garoon_lwc.ini	
└/garoon_policy.ini	
└/grn.cgi	
└/grn.exe	
└/LICENSE_en.txt	
└/LICENSE_ja.txt	
└/LICENSE_zh.txt	

```

└/logger.ini
└/lwc.ini
└/php.ini
└/profile.ini
└/sched
└/sched.ini
└/sched.log
└/script.log
└/state.ini
└/system_admin.ini
└/uninstall_cbgrn

```

## サイボウズ データベースエンジン

サイボウズ データベースエンジンのファイルは、インストールした時に指定したインストールディレクトリーに保存されます。

- インストールディレクトリーの例 : /usr/local/cybozu

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

<b>/usr/local/cybozu</b>	サイボウズ データベースエンジンに関するファイル類
└/mysql-5.0	
└/bin	
└/my_print_defaults	
└/mysql	
└/mysql_upgrade	
└/mysql_install_db	
└/mysql_upgrade	
└/mysqladmin	
└/mysqlbinlog	
└/mysqlcheck	
└/mysqld	
└/mysqld_safe	
└/mysqld_safe_pc	
└/mysqldump	
└/mysqlimport	
└/resolveip	
└/data	
└/cb_cbgrn	
└/mysql	
└/error.log	
└/ib_logfile0	
└/ib_logfile1	
└/ib_logfile2	
└/ibdata1	
└/mysql.sock	
└/slow.log	

	└/etc
	└/Samples
	└/my.ini
	└/files
	└/cbgrn
	└/share
	└/tmp
	└/cb_version
	└/uninstall_cycle_5_0
	└/openldap
	└/etc
	└/lib
	└/openssl
	└/lib

## 画像ファイル

画像ファイルは、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- ドキュメントルートディレクトリーの例: /var/www/html

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

<b>/var/www/html</b>	ドキュメントルートディレクトリー
└/cbgrn	インストール識別子
└/3rd_party_license	サードパーティのライセンス情報
└/api	
└/fw	フレームワークに関する画像ファイルなど
└/grn	ガルーンに関する画像ファイルなど
└/common	
└/flash	
└/html	
└/image	
└/cybozu	
└/help	ガルーンのヘルプに関するファイル
└/tiny_mce	書式編集に関する画像ファイルなど

## 起動スクリプトファイル

起動スクリプトファイルは、起動スクリプトディレクトリーにインストールされます。

- 起動スクリプトディレクトリー例: /etc/rc.d/init.d

Cybozu データベースエンジン起動スクリプト	:/etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
スケジューリングサービス起動スクリプト	:/etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn



# 索引

## A

Administrator 権限..... 12, 32, 44, 49  
Administrator ロール.....26

## I

IIS の設定.....11, 17, 32

## M

my.ini ファイル .....8, 28

## R

root ユーザー ..... 21, 37, 46, 49

## S

SELinux.....20

## W

Web サーバー  
  Apache .....20, 36  
  IIS .....11, 31

## あ

インストール識別子 ..... 9, 13, 21, 37, 46

## か

仮想化環境.....7  
仮想ディレクトリー .....16, 24

## さ

サービスの種類  
  サイボウズ データベースエンジン .....47  
  スケジューリングサービス.....47  
実行可能ファイル .....17  
実行ユーザー名 .....22  
試用許諾契約 ..... 12, 21, 37, 46

## た

タイムゾーン .....24

## ディレクトリー

CGI 実行可能ディレクトリー..... 14, 22, 51, 54  
インストールディレクトリー ..... 13, 21, 52, 55  
起動スクリプトディレクトリー ..... 56  
ドキュメントルートディレクトリー ..... 14, 22, 53, 56

## 動作環境

対応 OS..... 6  
対応 Web サーバー ..... 6  
対応 Web ブラウザー ..... 6

## は

### パスワード

Administrator のパスワード..... 17  
データベース管理ユーザーのパスワード ..... 9  
ポート番号の設定 ..... 8

## ま

メールサーバー ..... 7  
  認証形式 ..... 7  
  プロトコル ..... 7

## や

ユーザー情報の入力項目 ..... 27

## ら

### ログ

インストールログ ..... 16, 24, 34  
初期化のログ ..... 34  
バージョンアップログ ..... 34  
ログの見かた  
  versionup\_###.log の見かた ..... 41

---

お問い合わせ先 <http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/>

発行日 2016年8月 第5.3版発行

発行者 サイボウズ株式会社

Copyright (C) 2011-2016 Cybozu